



かけはし

229号

2024年11月

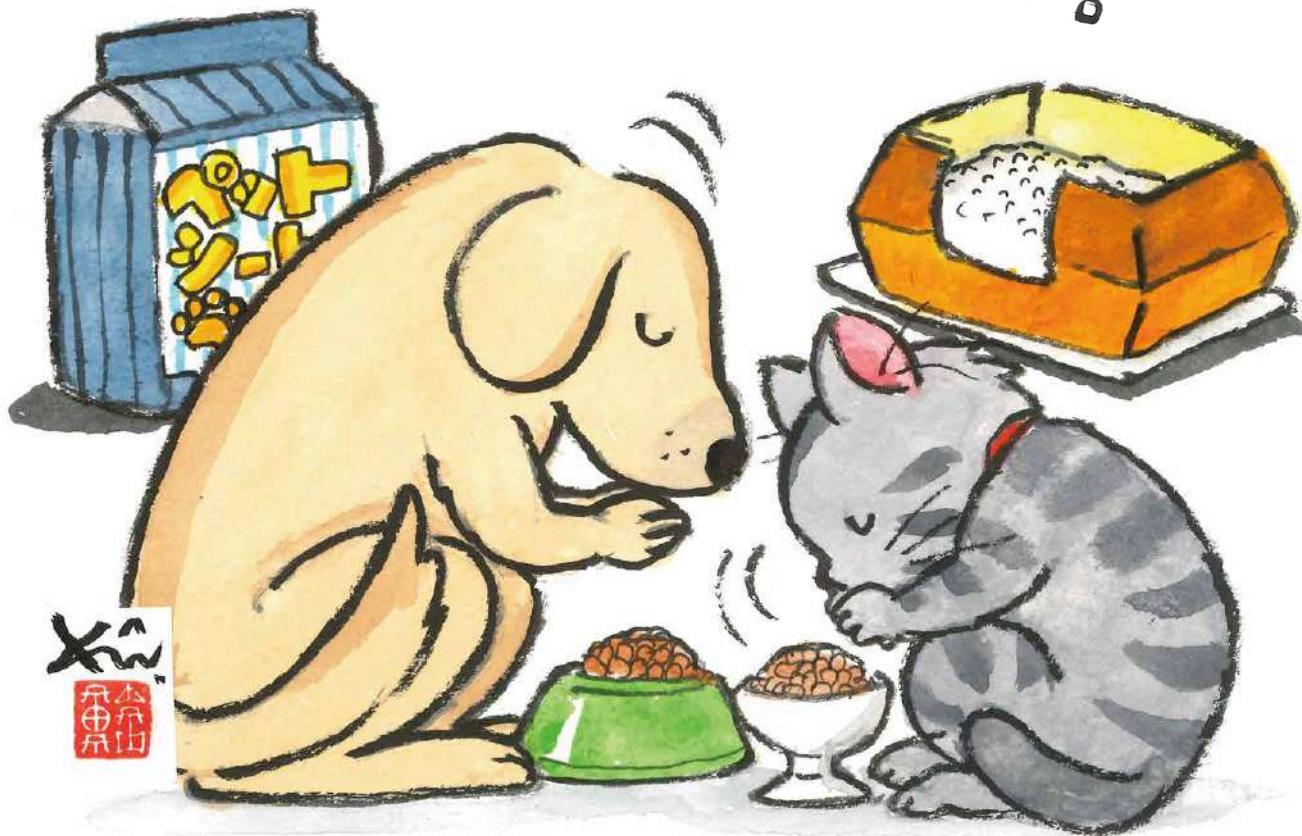
ご自由にお持ちください

特集

リハビリ通信

50歳過ぎでの尿に関するトラブル 一定期的なPSA検査を受けましょうー
食欲の秋!だからこそ運動を!

ありがとう。
私の暮し
見渡せば
すべてが
誰かの労を
介した
賜りもの。
たまわ
勤労感謝の日



50歳過ぎての尿に関するトラブル — 定期的なPSA検査を受けましょう —

これらの症状に身に覚えありませんか？



- ☐ 排尿後すぐにトイレに行きたくなる
- ☐ 尿の回数が増える(特に夜間)
- ☐ 尿が出にくく、下腹部に不快感がある

もしかしてそれ
前立腺がんかもしれません

早期の前立腺がんには症状がありません。しかし、同時に存在する前立腺肥大の症状があります。前立腺がんは進行すると骨に転移しやすく、歩けなくなる場合もあります。

1. 年々増加する前立腺がん

前立腺がん罹患数(前立腺がんにかかる人)は2000年から増加を続けており、2019年の男性が罹患が一番多いがんになっています(表1)。特に50歳以降から急激に罹患数が増加するため、前立腺がんは高齢者のがんと言えます。

前立腺がんは健診などで自覚症状のない早期に発見できれば中リスク以下の根治可能な症例の場合が多くあります。しかし、胃がんや大腸がん、肺がんなどと違い、国のがん対策(検診)がないため見過ごされやすく、肉眼的血尿や尿閉など重い症状が発症してから外来を受診される方も多く、そのような場合はすでにがんが他の臓器に転移してしまっているなど根治困難な状態になっている場合があります(表2)。

そこで、当院では50歳以降の男性の方には1年に1度、前立腺がん検診である「PSA検査」の定期的な受診をお勧めしています。PSA検査は少量の採血のみで実施でき、自身の身体の状態をチェックすることができます。

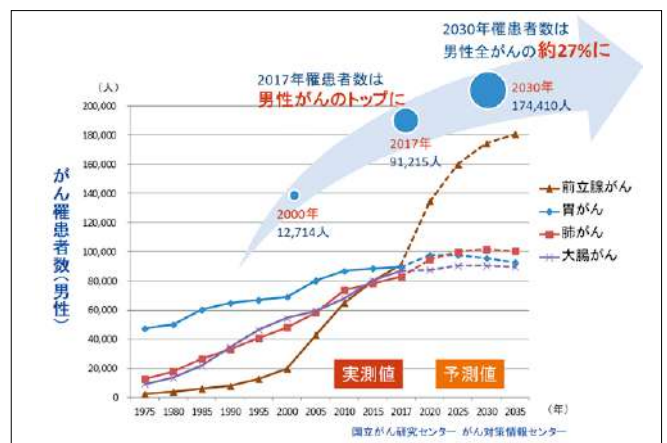


表1. 増加する前立腺がん罹患数の実測値と予測値

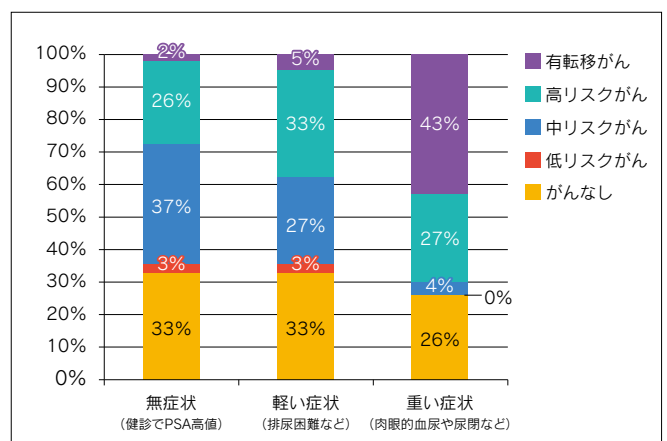


表2. 前立腺がんのリスク分類と自覚症状の関係(2023年度当院実績)

II. 前立腺がん検出はPSA検査から！

PSA検査では、PSA（前立腺特異抗原）と呼ばれる前立腺でつくられるタンパク質の一種を前立腺がんの腫瘍マーカーとして用いています。がんや炎症により前立腺の組織が壊れると、PSAが血液中にもれだし、血液中のPSA量が増加します。そのため一般的に前立腺がん検診や前立腺がんが疑われる場合に、まずPSA検査が行われます。

先述の通り、早期で前立腺がんを発見するには、無症状もしくは軽い排尿症状でのPSA測定が望まれます。

当院の健診センターでは希望者に対してPSA採血単独の健診も行っています。

また、排尿障害があり泌尿器科外来を受診される50歳以上の男性に対しては、採血後1時間半程度で結果を出し、説明をしています。

しかし、PSA高値はがんに特異的なものではなく、前立腺肥大症や前立腺炎のために上昇している場合があるため、次にMRI検査による画像診断を行います。

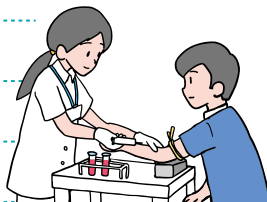
年齢	基準値	PSA値		
		1.0ng/mL以下	1.1ng/mL ～基準値	基準値以上
50～64	3.0ng/mL以下	3年に一度検査	1年に一度検査	専門医受診
65～69	3.5ng/mL以下	3年に一度検査	1年に一度検査	専門医受診
70～	4.0ng/mL以下	3年に一度検査	1年に一度検査	専門医受診

当院のPSA検査

【対象】 50歳以上の男性

【検査内容】 採血

【費用】 1,980円（税込）



健診センター【予約制】TEL：077-552-9806

9：00～16：00 月曜～金曜 ＊祝日除く

III. 発見してからの当院の治療までのながれ

① PSA検査

まずはPSA検査（腫瘍マーカー）。検査は少量の採血のみで行えます。

異常所見あり

② 精密検査（MRI）

PSA値の異常値が続く場合は、MRI検査によって、がんの有無やがんが前立腺内のどこにあるのか精密な検査を行います。



異常所見あり

前立腺生検
(MRI/US fusion)

異常所見なし

経過観察

異常所見あり

③ 精密検査（前立腺生検）

当院では、MRIと超音波を組み合わせることのできるがんの疑わしい場所を正確に狙い撃ちできるMRI/US fusion 生検装置『TRINITY』を使用し、患者さんへの身体の負担を軽減しています。日帰りが可能で生検時の痛みも軽度です。ほぼ1回の生検で診断が可能です。

異常所見あり

④ 治療

手術支援ロボットや強度変調放射線治療（IMRT）、化学療法など、患者さんの症状によって組み合わせながら治療を行っていきます。



ロボット手術センター長 鴨井 和実

【専門医・認定医・資格】

- ・ da Vinci surgical system 術者認定取得
- ・ 泌尿器口ロボット支援手術プロクター認定医（前立腺、膀胱がん）
- ・ 日本泌尿器科学会 専門医・指導医
- ・ 日本超音波医学会 専門医・指導医
- ・ 日本がん治療認定医療機構 がん治療認定医



リハビリ通信

食欲の秋！だからこそ運動を！

リハビリテーション技術科 理学療法士 西川 晃希

秋は美味しい食べ物がたくさん登場する季節です。栗、サツマイモ、カボチャ、そして新米など、魅力的な食材が多く、誰しもが食欲をそそられる時期ですね。

しかし、美味しいものをたくさん食べるだけではなく、運動もしっかりと取り入れることで健康を維持していきましょう。ここでは、食欲の秋にこそ運動を取り入れるためのポイントをいくつか紹介します。



1. 散歩でリフレッシュ！

秋の気候は非常に心地よいです。近所を散歩することで、新鮮な空気を吸いながら気分転換を図れます。特に紅葉を見ながらの散策は、心身ともに良い影響を与えることでしょう。目安として1日30分のウォーキングから始めてみましょう！



2. 家の周りでアクティビティー！

家の庭で家庭菜園を始めることで、土を掘りながらの軽い運動となります。また収穫した野菜や果物を使った料理を楽しむことで、食欲を満たしつつ、身体も動かせる一石二鳥の活動です。



3. 楽しいグループ活動！

家族や友人と一緒にスポーツや軽い運動を楽しむのも素晴らしい方法です。例えば、近くの公園でのピクニックにバドミントンやサッカーなどのスポーツを取り入れてみましょう。競技を通じて楽しみながら運動することでモチベーションを高めることができます。



4. 趣味としての運動を見つける！

運動が苦手な方でも楽しめる趣味を見つけることが大切です。秋は新しい趣味を始める良いタイミングです。ダンス教室やヨガ、ピラティスなど楽しみながら身体を動かす活動に参加してみましょう。仲間と一緒に楽しめると運動が苦痛ではなくかえって楽しみに感じることができます。



まとめ

食欲の秋は「心と体に大切な季節」です。美味しいものを楽しむためには運動も大切です。

日常生活の中にふんだんに運動を取り入れ、心身の健康を保ちながら秋の恵みを存分に楽しんでいきましょう。皆さんの健康を応援しています。

からだを守る医療機器

Vol.9 輸液ポンプ

臨床工学科 臨床工学技士 金子 翔丞

●『輸液ポンプ』ってなに？

輸液ポンプは、単位時間当たりの設定流量を正確に注入し、安定した輸液量を維持するために用いられる機器です。

点滴筒内を滴下する滴数を数えてローラークレンメを用いて流量を調節する方法に比べて流量設定の精度が高いため、高カロリー輸液、高濃度薬剤の投与、化学療法剤の投与のような高い定常性が求められる輸液に適しています。



ローラークレンメ



輸液ポンプ

● 流量の制御方式

・滴数制御型

点滴筒に滴下センサーを装着し検出した滴下数によって流量を制御しています。当院で使用している輸液ポンプのほとんどがこちらの制御方式です。

・流量制御型

ポンプのモーターの回転数を変えて流量を制御しており、チューブの径や弾力性によって流量が変化するため専用の輸液セットが必要となります。当院では輸血や経腸栄養の投与の際に使用しています。

● 輸液ポンプの安全装置

・閉塞検出器

チューブが折れ曲がっていたりしてチューブの内圧が上昇した場合、チューブが膨張したり固くなることを検出し、停止してアラームで知らせてくれます。

・気泡検出器

超音波により常に、チューブ内の超音波強度を監視することで、投与する薬剤が無くなった場合、チューブ内に気泡が混入することで、超音波強度が弱くなり、停止してアラームで知らせてくれます。

・滴下センサー

点滴筒を挟んで赤外線を利用して滴下数をカウントしているためフリーフロー（輸液ポンプの制御を受けない輸液セット内から患者への流れのこと）を検出して、停止してアラームで知らせてくれます。

日常的な清掃、4か月ごとに定期点検を実施し、輸液ポンプの動作に異常がないかの確認を行うことで、患者さんに安心して使用していただけるように努めています。



CEの
一言メモ

新任医師紹介

①大学卒年 ②趣味 ③自己PR ④抱負



消化器内科 副部長
ひえだ のぶひろ
稗田 信弘

- ① 平成20年卒
- ② サッカー、筋トレ
- ③ 消化器疾患、特に胆道・膵臓領域の診断治療を専門としています。
- ④ 済生会滋賀県病院の一員として診断・治療を行い、地域の皆さまのお役に立てればと思っています。よろしくお願いします。



整形外科 医長
いらい ひろゆき
岩井 宏之

- ① 平成27年卒
- ② 野球観戦、卓球
- ③ 自分が腰のヘルニアで苦しんだ経験から患者さんの痛みに寄り添った治療を心がけています。腰痛や神経痛でお困りの方は受診ください。



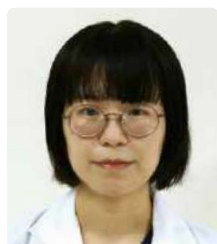
整形外科 専攻医
まつもと げんいちろう
松本 源一郎

- ① 令和2年卒
- ② 洗車、ライブに行くこと
- ③ 特に外傷治療に力を入れて頑張ります。
- ④ 良い治療ができるよう頑張ります。



心臓血管外科 医長
わきさか ひろなか
脇坂 穂高

- ① 平成28年卒
- ② ランニング
- ③ マラソンが趣味で体力には自信があります。
- ④ 地域の皆さまによりよい治療を提供できるよう全力で頑張りたいと思います。



形成外科 専攻医
はった ふつき
八田 文月

- ① 令和2年卒
- ② 編み物、カラオケ、建物
- ③ 形成外科の習練中です。患者さんの生活や気持ちに寄り添った治療ができるよう日々尽力しています。
- ④ この病院に来て良かったと思えるよう頑張ります。

救急集中治療科 専攻医
すが ともこ
須賀 友子

- ① 令和3年卒
- ② 映画鑑賞
- ③ 3カ月だけの勤務になりますがよろしくお願いします。
- ④ 地域医療に貢献できるよう頑張ります。

泌尿器科 専攻医
にしもと ゆうや
西元 裕也

- ① 令和4年卒
- ② 旅行、料理
- ③ 医師になる前に看護師として勤務した経験があります。多職種連携を通して、より良い医療を提供できればと思います。
- ④ 皆さまのご期待にそえるよう日々研鑽を積んでまいります。

Information

診療・採血受付窓口での対応時間変更のお知らせ

令和6年10月7日(月)より診療・採血受付窓口での対応時間を変更しています。

ご迷惑をおかけしますが、ご理解のほどお願い申し上げます。

詳細は当院ホームページをご確認ください▶



	開始時間	終了時間
変更前	午前8:30	午後5:00
変更後	午前8:40	午後4:50

診察の呼び出しを受付番号でのご案内に変更しています

令和6年10月15日（火）より、診察の呼び出し方法を診察室出入口に設置している小型モニターにて受付票の受付番号で呼び出す方法に変更しています。

小型モニターに番号が表示されましたら、診察室のお近くでお待ちください。

※「受付番号」は診察の順番ではありません。

※呼び出し不在時や部門によっては、これまで通り「お名前」で呼び出す場合があります。



診察順が近い受付番号

まもなく診察の方の番号です。
1235 1236 1237 1238
本日は大変混み合っております

ここに番号が表示されたら、**診察室のお近くでお待ちください**

受付番号の確認方法

再来受付機で受付された方

総受付（地連）で受付された方

令和6年度 糖尿病教室のお知らせ（12月・1月開催）

糖尿病についてなるべくご理解いただけるよう、わかりやすく、時には楽しくお話をいたします。この教室がひとつのきっかけかもしれません。ぜひご家族、ご友人などでお気軽にご参加ください。



**参加無料
申込必須**

開催時間・場所		日程	テーマ	担当者
【開催時間】 各日程 午後2時00分～ 午後3時30分	【開催場所】 当院10階 健診センターラウンジ	2024年 12月17日 (火)	糖尿病とはどんな病気？	医師 福家 智也
			糖尿病と動脈硬化の深～い関係	臨床検査技師 古谷 善澄
		2025年 1月21日 (火)	糖尿病の合併症 ～急性合併症・慢性合併症～	看護師 二階堂 翔太
			糖尿病とお薬とのつきあい方	薬剤師 中村 久徳

参加申込み・お問い合わせ

TEL：077-552-1221(代)
担当：糖尿病療養指導チーム

当院では無料低額診療事業を実施しています

詳細は当院ホームページをご確認ください。



▲HPはこちら



まちの診療所紹介

かかりつけ医をもちましょう

「かかりつけ医」は患者さんやご家族が、身近に日常的な治療及び健康管理について相談できるお医者さんです。体調の変化で気になることを気軽に相談できる関係性を築くことで、病気の早期発見や予防につながります。自宅や職場の近くにかかりつけ医をもっていただくことをお勧めします。



滋賀県大津市松山町1-24

TEL.077-574-7718

*駐車場10数台あり

【診療科目】

整形外科、小児整形外科

リハビリテーション科、リウマチ科

【診療時間】

〈午前〉 9:00～12:00

〈午後〉 16:00～19:00

【休診日】

木曜午後、土曜午後、日曜、祝日



▲HPIはこちら

診療時間	月	火	水	木	金	土
午 前	●	●	●	●	●	●
午 後	●	●	●	/	●	/

大津市

大津京ファミリー整形外科

院長 共田 義秀 先生

～赤ちゃんから高齢者まで幅広い診療～

当院では、幅広い年齢層・疾患領域をカバーする診療を提供することを理念とし、年代を問わずどなたでも利用できる施設を目指し、クリニック名にその思いを込めました。

小さなお子さんから高齢の方まで、捻挫や打撲、骨折などの外傷をはじめ、肩こりや腰痛、膝痛などの日常的な痛み、加齢に伴う変形性の骨・関節疾患や骨粗鬆症、関節リウマチ、痛風なども扱っております。

また、切り傷や擦り傷・火傷、局所麻酔で出来る日帰り手術（腱鞘炎・巻き爪・その他皮膚良性腫瘍など）も行っています。

症状にお悩みの方は、ぜひ一度ご相談ください。



滋賀県東近江市八日市上之町9-2

駐車場20台完備(西友八日市店西側、セブンイレブン横)

TEL.0748-34-2001

【診療科目】

内科、消化器内科

内視鏡内科、肝臓内科

【診療時間】

午前 9:00～12:00

検査 13:30～16:30

夜診 16:30～18:30

【休診日】

水曜・日曜・祝日

▲…13:30～16:30は予約検査のみ



▲HPIはこちら

診療時間	月	火	水	木	金	土
午 前	●	●	/	●	●	●
検 査	▲	▲	/	▲	▲	▲
夜 診	●	●	/	●	●	/

東近江市

もりた内科・消化器内科クリニック

院長 森田 康大 先生

皆様に安心をお届けする

「かかりつけ医」「消化器・内視鏡クリニック」を目指します。

がんに限らず、多くの疾患は早期発見、早期治療することで、完治を目指したり、重症化を予防したりすることが可能です。地域の皆様の健康のため、気軽に受診していただける医療の場を作りたいと考え、開院させていただきました。

医学博士、総合内科専門医、消化器病専門医、消化器内視鏡専門医、肝臓専門医としてのこれまでの経験を活かし、地域の皆様に安心を提供できるよう、診療させていただきます。特に「眠ったままできる内視鏡検査」「日帰り大腸ポリープ切除手術」が可能です。これは当院の特徴であり、多くの方の健康に貢献できるものと考えております。

治療方針や治療内容についてもわかりやすく説明し、安心して受診していただけるよう心掛けております。医療を通じて、地域の皆様の人生が健康で豊かなものになってほしいと願っております。どうぞよろしくお願いいたします。



病院理念

私たちは、済生会の「救療済生」の精神に基づき、安全で質の高い医療の提供と、心温まるサービスを実践し、地域の皆様の安心と幸せな未来へ貢献します。

かけはしNo.229 2024年11月

発行元 社会福祉法人 滋賀県済生会

〒520-3046 滋賀県栗東市大橋二丁目4番1号

TEL (077) 552-1221 (代) URL <https://www.saiseikai-shiga.jp/>